

平成29年1月19日

高砂市総合教育会議資料

- ・ 豊かな心の育成について 1

高 砂 市

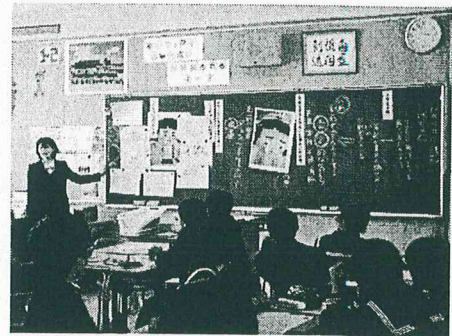
道徳性や規範意識をはじめとした「豊かな心」の育成

① 一人一人の心に響く道徳教育

幼稚園、小・中学校におけるあらゆる教育活動を通して、人間尊重や生命尊重を基盤とした社会の中で生きるためのルールやマナーを学ばせるとともに、互いの生き方や価値観を認め合い、人としての生き方をともに考え、ともに行動できる子どもを家庭や地域と連携して育てる。

【実践内容1】全教職員による教育活動全体を通じた指導

- 改訂版学習指導要領に基づき道徳の教科化の理解に努め、幼小中の連携や家庭・地域とのつながりを活かしながら、校長の方針のもと、道徳教育推進教師の役割を明確にし、全教職員が協力して道徳教育の充実を図る。
- 道徳の時間の充実を図るために各校での授業研究や市主催の授業力向上研修に参加し、読み物資料の教材解釈、指導案作成等を学び、問題解決的な学習等、多様な学習方法等を研究し、道徳の時間の授業力向上に努める。
- 道徳の時間を要として各教科、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動等、あらゆる教育活動の特質に応じた指導を行う。
- 実物にふれる等、体験活動を指導過程に取り入れ、人としての生き方についての自覚や行動を実感させながら道徳の実践力を育成するとともに、自他を尊重できる態度や思いやりの心を養えるよう努める。
- 幼稚園においては、五領域を通して道徳性の芽生えを培うとともに、「おはなしリスト」の活用促進を図る。



中学校道徳授業研究（竜山中学校）

【実践内容2】道徳の時間の確保と指導の充実

- 子どもの実態や指導の課題を踏まえ、めざす子ども像を明確にした全体計画を策定するとともに、指導内容や指導方法を工夫した道徳の時間の年間指導計画及び各教科等における年間指導計画を作成し実践する。

【実践内容3】教材の開発・活用

- 各教科、特別活動、総合的な学習の時間及び外国語活動との密接な連携を図り、『私たちの道徳』『兵庫県道徳副読本』を年間指導計画に位置付け、それらの資料をもとに各学級の実態に応じた教材開発に取り組み、一人一人の心に響く道徳の授業を展開する。
- 『兵庫県道徳副読本』『ふるさと高砂学』等の資料を積極的に活用し、地域の先人や高齢者への尊敬と感謝の気持ちを育み、人を思いやる心などの大切さに気づかせる。

【実践内容4】家庭・地域との連携

- 道徳の授業を公開したり、学校園だよりやポスター等で道徳実践の取組を啓発したりして保護者や地域の人々とともに校区全体で道徳教育を推進する。
- 地域人材を活用することで、郷土への認識を深め、地域社会に尽くした先人や高齢者への尊敬と感謝の気持ちを育む。
- 道徳推進月間、「親子道徳の日」等を設定し、家庭、地域と連携して全市的に道徳実践の推進に取り組む。

※『兵庫県道徳副読本』：兵庫県で生まれ育った先人の生き方や自然、伝統や文化等を題材にした道徳教育用副読本。小学校低学年用、中学年用、高学年用、中学校用と分かれており全児童生徒に配布されている。教師用指導書について兵庫県道徳教育Webページに掲載 <http://www.hyogo-c.ed.jp/~gimu-bo/doutoku/doutokuweb.htm>
パスワード 小学校：sidou-es 中学校：sidou-jhs

※『私たちの道徳』：文部科学省が「心のノート」を全面改訂して作成した道徳教育用教材

平成28年度 高砂市道徳教育推進事業



市 **高砂市道徳教育推進会議**

推進内容…①市全体の道徳教育推進計画の策定、進捗状況の確認
 ②中学校区を核とした道徳教育実践研究の推進
 ③家庭、地域と連携した道徳教育の推進

構成…中学校区の代表校長（6） 小・中学校担当校長（2） 幼稚園担当園長（1）
 小・中学校代表教諭（2） 幼稚園代表主任教諭（1） 高砂市連合PTA（1） 事務局職員

幼稚園部会

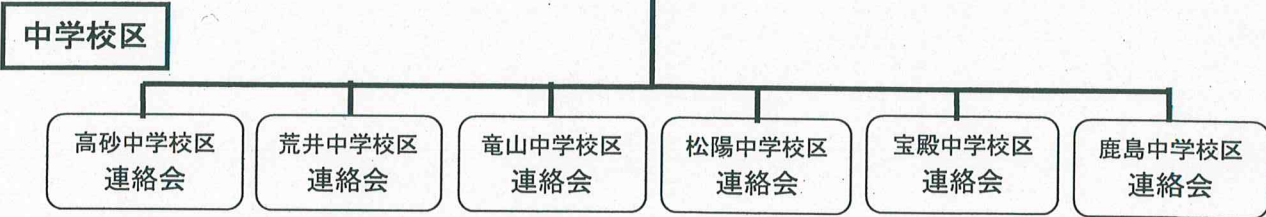
推進内容…公開保育の実施
 「おはなしリスト」の活用・促進
 「道徳性の芽生え実践事例集」を用いた研修の充実

構成…担当園長（1）主任教諭（8）

小・中学校部会（担当者会）

推進内容…授業研究の実施（小・中学校）
 全体計画・指導計画の充実
 教材の開発・充実

構成…担当校長（2）・担当教頭（2）
 道徳教育推進教師（16）



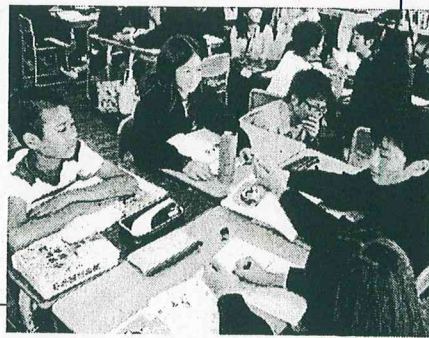
推進内容…①校区課題に基づいた取組計画の策定・実施・評価、園・学校の進捗状況の確認
 ②道徳教育研修会、授業研究会の効果的な実施
 ③家庭・地域と連携した道徳実践の計画立案、実施

構成…中学校区代表校長、小・中学校道徳教育推進教師、幼稚園道徳担当教諭、事務局職員

学校・園

推進内容

- ①道徳教育の全体計画等を策定し、学校・園全体で取り組む
 - ・全体計画、年間指導計画、各教科等における年間指導計画の作成・充実
 - ・PDCAサイクルに基づいたカリキュラムマネジメント
 - ・各教科等における教育活動全体を通した道徳教育の推進
 - ・「おはなしリスト」を活用した読み聞かせの実践
- ②読み物資料等多様な道徳資料を活用し、魅力ある道徳授業を実践する
 - ・「道徳の時間」の充実、指導法の工夫
 - ・十八番（ローテーション）授業
 - ・ねらいに迫るための発問、板書の工夫
 - ・開発教材の活用
 - ・文部科学省道徳教育用教材「私たちの道徳」及び兵庫県道徳副読本の活用推進
- ③家庭・地域とともに道徳教育を推進する
 - ・オープンスクールや参観等での授業公開
 - ・学校園だより等による取組の啓発
 - ・道徳教育推進月間等での取組啓発
 - ・「親子道徳の日」の取組



小学校道徳授業研究（伊保南小学校）

② 社会性や意欲を育む学校行事・体験活動

子どもの発達段階に応じた体験活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、キャリア教育との関連を図りながら、集団や社会の一員としてよりよい生活を築いていこうとする自主的・実践的な態度を育てる。

また、命の大切さや思いやりの心、規範意識の涵養等人としての在り方について自覚を深め、自己を生かす態度を育てる。

【実践内容1】自主的・実践的な態度の育成

- 学級活動（当番活動、係活動）、児童会・生徒会活動等の仕事に進んで参加させ、自分の学級や学校（集団や社会）をより良くしていこうとする自主的・実践的な態度を育てる。また、それらの取組から自分ならできるという自己有用感を育む。
- 様々な集団活動を通して、多様なものの見方や考え方を身につけさせ、自他の個性を認める心を育み、規範意識の涵養や思いやり等を行動に移す力の育成等に努める。

【実践内容2】体験活動の充実

- 「環境体験活動」「自然学校」「トライやる・ウィーク」「野外活動」「社会奉仕体験」「福祉体験」等の兵庫型「体験教育」を核として発達段階に応じた体験活動を取り入れる。
- 体験活動で学んだことを発表したり、道徳の授業の中で活動の体験を取り上げたりして、その後の学習や生活に生かすために達成感や自己有用感を高めるための事前事後の指導を充実させる。



野外活動（竜山中学校）

【実践内容3】学校行事の充実

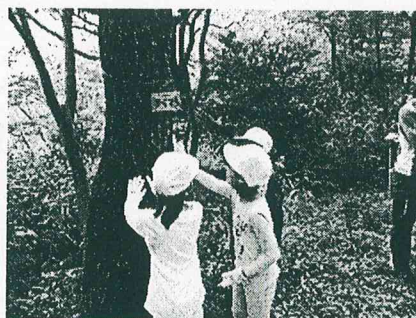
- 学校の教育目標に沿った学校行事を通して、集団の一員として活動する規範意識や、目標を達成する成就感等を育む。
- 行事の実施後にアンケートを行う等、その後の児童生徒の生活や学習に生かされているかどうかの検証を行い、指導の改善に生かす。
- 園・学校だより等で積極的に情報を発信し、保護者や地域の人々の理解と協力を得るように努める。

【実践内容4】地域の人材や教育資源の活用

- 専門的な知識・技能を有する団体、地域の企業等を学習支援ボランティアとして招き、指導内容の充実を図る。
- 地域の人材や施設・企業等の教育資源を活用し、体験的な学びを推進することにより、自ら地域とかわる意識を培う。



もちつき（阿弥陀こども園）



里山フィールドワーク（北浜小学校）



トライやる・ウィーク（高砂中学校）

※兵庫型「体験教育」：自然や社会、地域の人々等とのかかわりの中で、子どもたちが自己を深く見つめ、自分の良さに気付くとともに、課題を見出し解決する態度、思いやりの心をもって進んで行動する力を育むための体験活動。「環境体験学習（小3）」「自然学校（小5）」「わくわくオーケストラ教室（中1）」「トライやるウィーク（中2）」などがある。

③ 伝統や文化に関する教育の充実

国際社会で主体的に生きるため、伝統や文化についての理解を深め、それらを尊重しながら豊かな文化を創造する態度を育てる。また、伝統文化・伝統芸能にふれ、「ふるさと高砂」を愛する心を育てる。

【実践内容1】ふるさと「高砂」の学習の充実

- 伝統や文化に関する教育を計画的に実施し、ふるさと「高砂」を愛する心を育てる。
- 教師用資料集『ふるさと高砂学』の冊子を活用し、高砂の歴史や文化・産業等を学ぶことを通して、郷土を愛する態度を育てる。
- 謡曲「高砂」の体験や、地域に根ざした行事への参加を通して、郷土の伝統と文化に親しみ地域の一員としての自覚を高める。



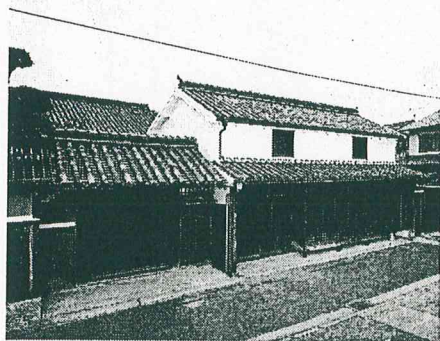
申義堂を活用した謡曲「高砂」の授業
(高砂中学校)

【実践内容2】学校の文化活動の推進

- 国・県の芸術文化体験事業を活用し、音楽鑑賞体験や演劇鑑賞体験をすることで文化芸術への関心を高める。
- 園・学校では、地域の芸術家や伝統芸能保持者等を招き、体験活動を計画的、継続的に実施する。
- 中学校の部活動において文化部の充実を図り、芸術を愛好する態度や心を育てる。

謡曲「高砂」

高砂や この浦舟に帆を上げて
 この浦舟に帆を上げて 月もろともに出汐の
 波の淡路の島影や 遠く鳴尾の沖過ぎて
 はや住吉(すみのえ)に 着きにけり
 はや住吉(すみのえ)に 着きにけり



兵庫県指定文化財「旧入江家住宅」(曾根町)



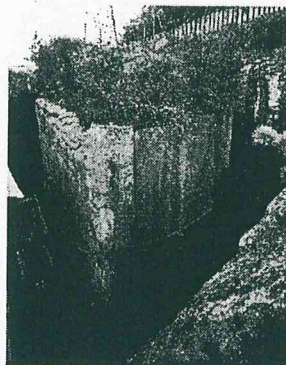
江戸時代の学問所「申義堂」(高砂町)



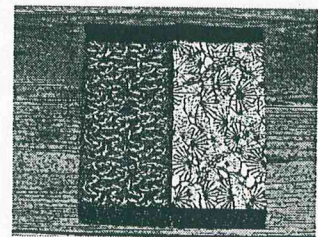
工楽松右衛門 像
(高砂神社)



工楽松右衛門邸 (高砂町)



国指定史跡「石の宝殿及び竜山石採石遺跡」



高砂染 (高砂町)

※謡曲「高砂」: おめでたい謡(うたい)として結婚式に欠かせない謡曲 原題は「相生」 阿蘇の神主友成が上京の途中に高砂の浦に立ち寄った際、相生の松の精である老人夫婦と出会う物語で、夫婦愛・長寿の理想を表した謡曲の代表作